

令和2年度静岡市協働パイロット事業の実施に関する実態調査

団体名： あそびのひろば

調査目的

本調査は、令和2年度静岡市協働パイロット事業における本市と市民活動団体との協働の実態や課題等を調査し、本市の市民協働施策に役立てることを目的とします。

設問

問1 協働事業の計画から実施までのプロセスについて、次の表にしたがって評価してください。

(評価…1：よくできた 2：ある程度できた 3：あまりできなかった 4：できなかった 5 該当しない)

		評価欄	
事業 成果 ・ 波及 効果	1	事業目的や市民ニーズの充足を達成することはできましたか。	3
		(評価理由)： 事業目的は達成出来た。市民ニーズは2年目に達成する予定だった。	
	2	協働での事業実施により、単独で実施するよりも成果が上がりましたか。	2
		(評価理由)： 居場所情報収集会で、市で出来る事の現状等をお話していただく機会が持てた。	
	3	市民活動団体の先駆性、創造性を活かした事業実施ができましたか。	2
		(評価理由)： 難しかったが、概ね出来たと思う。	
	4	事業は当初の目的・予定どおりに実施することができましたか。	2
		(評価理由)： 何も情報がない所からのスタートであったが、概ね網羅出来たように思う。	
	5	当初の予算の見積もりは適正でしたか。	2
		(評価理由)： 適性だったと思う。	
	6	実施した事業は今後、本格実施(継続実施)への発展性が見込まれますか。	2
		(評価理由)： 他団体様との連携が取れるようになったので、見込まれると思う。	

問2 協働事業の実施によって得られた成果や課題について下欄にお書きください。

協働して事業を行うことで得られた成果

静岡市が協働している事により、単独で活動するよりも信頼感や話題性につき、他団体様に興味を持ってもらい協力していただける機会が持てた。

協働して事業を行う上での課題

協働課と切磋琢磨してあれこれ考えるわけでは無く、協働課はあくまで既存の施設や団体を紹介し、市の現状を伝える事に努めていた様に思う。新しい事を模索しそれを実現化するには、協働の意味を今一度考える必要があるのではないかと思った。

問3 令和2年度静岡市協働パイロット事業で実施した事業について、令和3年度以降も継続して事業を実施する予定はありますか。

- ① 現在実施している
- ② 今年度実施する予定である
- ③ 今年度は実施しないが、来年度以降実施する予定である
- ④ 実施する予定はない

問4 問3で①、②、③と回答した方にお聞きします。貴団体が実施している、又は予定している事業の内容について、簡潔にお書きください。

令和3年度市自委第 号静岡市協働パイロット事業「学校との協働を軸とした子どもの居場所づくり事業」業務を行っています。

設問は以上です。

御協力いただきありがとうございました。

お問い合わせ・提出先 静岡市 市民局 市民自治推進課

担当：青山、大石

〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1

TEL：054-221-1372 FAX：054-221-1538

メールアドレス：shiminjichi@city.shizuoka.lg.jp

令和2年度静岡市協働パイロット事業の実施に関する実態調査

担当課名： 青少年育成課

調査目的

本調査は、令和2年度静岡市協働パイロット事業における本市と市民活動団体との協働の実態や課題等を調査し、本市の市民協働施策に役立てることを目的とします。

設問

問1 協働事業の計画から実施までのプロセスについて、次の表にしたがって評価してください。

(評価…1：よくできた 2：ある程度できた 3：あまりできなかった 4：できなかった 5 該当しない)

		評価欄	
事業成果・波及効果	1	事業目的や市民ニーズの充足を達成することはできましたか。	2
	(評価理由)：事業目的である居場所情報の収集を実施できたのでこの評価とした。		/
	2	協働での事業実施により、単独で実施するよりも成果が上がりましたか。	2
	(評価理由)：市民活動団体同士の連携を活かした情報収集が実施できたのでこの評価とした。		/
	3	市民活動団体の先駆性、創造性を活かした事業実施ができましたか。	2
	(評価理由)：市民活動団体の連携を活かした活動が実施できたのでこの評価とした。		/
	4	事業は当初の目的・予定どおりに実施することができましたか。	2
	(評価理由)：仕様書に記載のとおり居場所情報を収集することができたのでこの評価とした。		/
	5	当初の予算の見積もりは適正でしたか。	3
	(評価理由)：情報の収集は実施できたが、収集できた情報が限定的であり、委託料の費用対効果について改善の余地がある為この評価とした。		/
6	実施した事業は今後、本格実施（継続実施）への発展性が見込まれますか。	2	
(評価理由)：市民ニーズの充足の為には今年度の事業で収集した情報を継続実施により周知広報する事が望ましい為この評価とした。		/	

問2 協働事業の実施によって得られた成果や課題について下欄にお書きください。

協働して事業を行うことで得られた成果
市民活動団体の連携を生かした活動によって居場所情報を収集することができた。

協働して事業を行う上での課題
市民団体側の目指す姿と行政側のニーズのすり合わせ。

設問は以上です。

御協力いただきありがとうございました。

お問い合わせ 市民自治推進課 市民協働促進係

メールアドレス：shiminjichi@city.shizuoka.lg.jp

担当者：青山、大石（内線：81-2283）